

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2026No.399】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヨハネス・ブラームス

曲名：ヴァイオリン協奏曲ニ長調 op. 77

演奏：ジャンヌ・ヤンセン (ヴァイオリン) / キリル・ペトレンコ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/56390>

2026年1月31日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



ブラームスは、後期ロマン派を代表するヴァイオリン協奏曲を作曲しました。この作品は、技巧的な華やかさよりも、ソロとオーケストラの交響的な融合に重きが置かれています。本作は、2025/26年のアーティスト・イン・レジデンスを務めるジャンヌ・ヤンセンにとって特に大切なレパートリー。キリル・ペトレンコの指揮のもと、彼女は音にたいする鋭敏な感性と語りかけるような表現力を披露します。後半にはスクリャービンの陶酔的な交響曲第3番《神聖な詩》が演奏され、人間の精神が闇から光へと昇華していく様子が描かれます。

以上の他に下記が演奏されました。

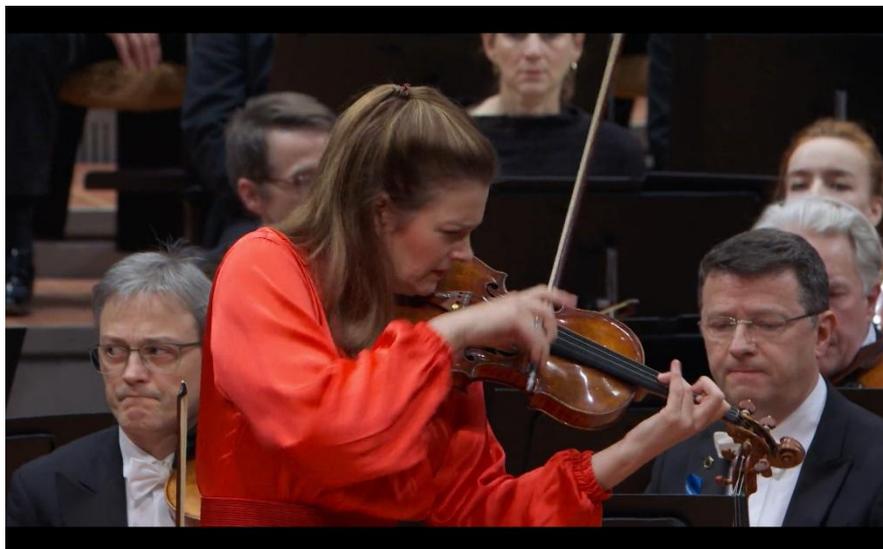
アレクサンドル・スクリャービン 交響曲第3番ハ短調《神聖な詩》

ブラームスのヴァイオリン協奏曲は、お馴染みの曲で、大柄なヤンセンがいつもどおりのダイナミックなボウイングで情熱的に演奏します。

スクリャービンの交響曲第3番《神聖な詩》は、初めて聴く曲ですが、題名のとおり神秘的な表情が続きます。

今回は、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、

GPS-777 からのクロック入力の SWD-20 に送り出し、さらに臨時に PC と DAC の SWD-DA20 との間に OMNI USB のデモ機と USB アキュライザーを介在させてみた結果、ブラームスではヤンセンのダイナミックなボウイングの様子が再現され、スクリャービンでは神秘的な表情が再現されていました。



以上